



POST CARD

第3四半期の情報は、中面をご覧ください。



株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)  
 返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

## TOP MESSAGE

### ご挨拶

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
 2010年度第3四半期(4月~12月期)を終了致しましたので、事業の概況をご報告いたします。当第3四半期の半導体市場は、スマートフォンやタブレット型コンピュータ向けの需要が増大する一方で、従来型コンピュータ向けの需要は減速するなど、市場の回復や成長はまだまだ模様となりました。このような事業環境のもと、当社グループは主力製品であるプローブカードの販売強化に努めました。メモリーIC向けにつきましては、VタイププローブカードやMタイププローブカードを中心に拡販に努めました。Vタイププローブカードにつきましては、国内外の販売強化に努めた結果、ほぼ計画どおりの売上を確保することができました。Mタイププローブカードにつきましては、昨年より拡販を開始した「MCシリーズ」が、10月~12月期においては、残念ながら想定していた受注を確保することはできなかったものの、当第3四半期終了時点(4月~12月期)においては、昨年を大きく上回る結果を得ることができました。  
 ロジックIC向けにつきましては、Cタイププローブカードを中心に国内外の拡販に努めた結果、売上を伸ばすことができました。また新製品であるロジックIC向けVタイププローブカード「VTシリーズ」を国内の先端デバイス向けの拡販に努めた結果、受注獲得につなげることができました。さらに海外大手半導体メーカーより「VS2」の本格的な受注を獲得するなど、ロジックIC向けの新製品拡販や海外市場開拓も進めることができました。  
 利益面につきましては、体質改善、原価低減、Mタイププローブカードの売上寄与等により、大きな成果を上げる事ができました。  
 今期は「MCシリーズの本格量産」「Vタイプの拡販」「海外比率の向上」「コスト革新プロジェクトの推進」を押し進めて参りましたが、当四半期までは、一定の成果を上げる事ができたと考えております。しかし冒頭に申し上げましたとおり半導体市場の回復状況の影響を受け、プローブカード市場の不透明感は増しております。当社といたしましては、各製品のより一層の競争力強化を図り、新しい、強いJEMの構築を図り、新年度を迎えたいと考えております。今後とも皆様の暖かいご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 坂根 英生



## TOPICS

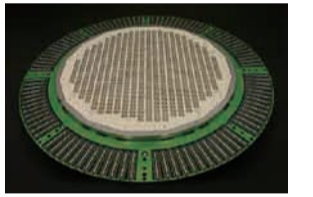
### 「SEMICON JAPAN2010」に出展

世界最大の半導体製造装置・材料の国際展示会「SEMICON JAPAN2010」が、2010年12月1日~3日、千葉県の幕張メッセにて開催されました。34回目の開催となった今回は、904社が出展、来場者は66,000人を超えました。各ブースでは、各社の最先端の製品や材料が紹介され、半導体メーカーの設備投資が回復傾向である事と相まって、会場は明るい雰囲気になっていました。当社は、黒を基調としたブースに「MCシリーズ」「VTシリーズ」「VSシリーズ」等の主力製品を展示し多くの方々をお迎えしました。来場されたお客様から、プロービングに関する課題を伺うと共に、当社の営業スタッフやエンジニアから展示品の説明やプロービングに関する様々な提案をさせて頂きました。幅広い技術と豊かな経験が求められるプローブカード業界において、当社の確かな力をアピールすることができました。



### Mタイププローブカードの近況について

当社の重要製品であるMタイププローブカードにつきましては、昨年よりNAND型フラッシュメモリー向け「MCシリーズ」の本格的な販売を開始して参りました。10月~12月期ベースにおいては、残念ながら受注を伸ばす事はできませんでしたが、本年度の4月~12月期の売上は、昨年を大きく上回っております。NAND型フラッシュメモリーは、スマートフォンやタブレット型コンピュータの需要拡大に伴い、今後も大きな成長が見込まれる分野であります。当社は「MCシリーズ」の製品競争力を向上させ、更なる拡販を目指します。



## 株主の皆様へお知らせ

POST CARD

第3四半期の情報は、中面をご覧ください。

### JEM TODAYは年4回発行 最新情報をお届けします

JEM TODAYは毎年4回、四半期ごとに発行しています。  
 通期報告・第1四半期報告は3月末現在の株主様へ、第2四半期報告・第3四半期報告は9月末現在の株主様へお送りしています。

### 株式関係のお手続きについて

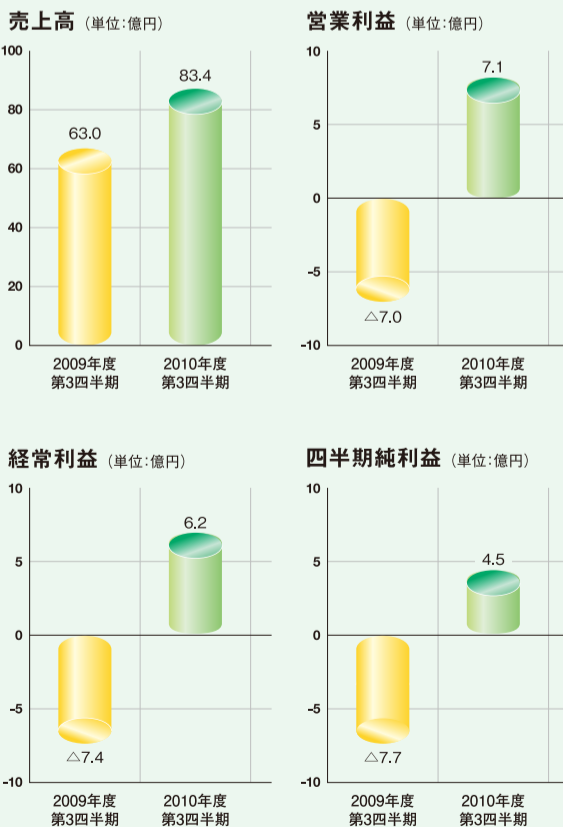
- 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、下記、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関  
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 大阪証券代行部  
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 電話 0120-094-777(通話料無料)



## 2010年度 第3四半期のご報告

### 業績の概況(連結累計)



### 事業環境

当第3四半期における世界経済は、米国経済の減速懸念や欧州諸国の財政不安などの先行きに対する不透明感はあるものの、新興国市場の成長に牽引され回復基調は維持されました。また国内においては円高、個人消費低迷などにより、景気の回復は足踏み状態となりました。当社グループの主たる事業分野である半導体市場におきましては、スマートフォンやタブレット型コンピュータ向けの需要が増大する一方で、従来型コンピュータ向けの需要は減速するなど、市場の回復や成長はまだまだ模様となりました。

### 売上高・収益動向

当第3四半期は、メモリーIC向けにつきましては、VタイププローブカードやMタイププローブカードを中心に販売力の強化を行い、ロジックIC向けにつきましては、主にCタイププローブカードの拡販に努めました。メモリーIC向けVタイププローブカードにつきましては、主たる市場である国内外のNAND型フラッシュメモリー向けに加え、その他のメモリーIC向けの拡販にも努めた結果、売上を維持する事ができました。Mタイププローブカード「MCシリーズ」につきましては、10月~12月期の受注を伸ばすことができませんでしたが、前年同期比(4月~12月期)においては、大きく売上を伸ばすことができました。Cタイププローブカードにつきましても、ロジックIC向けを中心に国内外の受注確保に取り組んだ結果、売上を伸ばすことが出来ました。さらに新製品であるロジックIC向けVタイププローブカード「VTシリーズ」についても、国内の先端デバイス向けの拡販に努めた結果、受注を獲得する事ができました。利益面につきましても、急激な円高の影響や合併解消関連費用の超過等が発生しましたが、「MCシリーズ」の本格量産開始等による工場稼働率の向上や各製品の原価低減効果等により、大きな効果を上げる事ができました。以上の結果、当第3四半期(4月~12月期)の売上高は83億4千7百万円(前年同期比32.5%増)、営業利益は7億1千1百万円(前年同期は営業損失7億6百万円)、経常利益は6億2千6百万円(前年同期は経常損失7億4千2百万円)、四半期純利益は4億5千2百万円(前年同期は四半期純損失7億7千4百万円)となりました。